



みどり

グリーンヒル
だより
2017年
〈秋号〉

社会福祉法人 翠燿会グループ

ホームページ：http://www.greenhill.or.jp/

・特別養護老人ホームグリーンヒル	八千代市上高野2058-5	TEL 047-484-6111 (代)	FAX 047-485-8007
・高齢者複合ケア施設グリーンヒル八千代台	八千代市八千代台西7-2-69	TEL 047-480-2777 (代)	FAX 047-480-7770
・グリーンヒル指定通所介護			
サテライト南デイホーム	八千代市八千代台南1-24-22	TEL 047-484-2735	(FAX兼用)
・小規模多機能型居宅介護サテライト			
グリーンヒル勝田台	八千代市勝田台1-7 D棟208	TEL 047-485-1088	FAX 047-481-8354
・放課後等デイサービス	八千代市村上南1-10-3		
グリーンヒルキッズ	G・STAR7771 階B号室	TEL 047-455-8585	(FAX兼用)
・八千代市勝田台地域包括支援センター	八千代市勝田台2-3-1	TEL 047-481-3515	FAX 047-481-3522

「グリーンヒルの心」

一、ご利用者の笑顔を大切に

私たちはご利用者の方々が常に快適に過ごせるよう、ハートフルな福祉・介護サービスでQOL（生活の質）の向上に努めます。

二、地域福祉のパイオニアたれ

私たちは、地域との連携を図りながら、福祉・介護サービスを積極的に展開し、地域福祉の先駆者としてチャレンジしてゆきます。

三、学ぶ姿勢を大切に

私たちは、常にご利用者の方々から学び、「目配り」「心配り」「声かけ」ができるように自己研鑽をすすめてゆきます。

「こ」挨拶」 理事長 津川 恵美子



今年も恒例の「敬老のお祝い」が九月十七日、十八日とグリーンヒルとグリーンヒル八千代台にて盛大に開催されました。

統計によりますと、日本で百歳以上の方は六万七千人で、最高齢は鹿児島県の107歳の女性。男性の最高齢は112歳の北海道の方だそうです。百歳以上の高齢者は、この二十一年間で六、七倍になり、その88%が女性とのことで、今年も百歳になられた方がグリーンヒル（女性）にもおられ

ました。「ご利用下さる皆様」が、毎日楽しくお過ごし頂ける様に、これからも職員一同励んで参りたいと思えます。

また今年の秋は、九月二十九日協力病院であるセントマーガレット病院の三十周年、十月一日にグリーンヒル八千代台の十周年となり、九月は大変多忙な一月でした。

私達法人の歴史は、昭和三十七年・八千代台の「朝戸医院」からスタートしています。その歴史は五十五年となり、千葉郡八千代町の時代です。当時は、町内に病院は二件しかなく、多

くの患者さんに来て頂きました。また、その時代は印刷村から八千代台の朝戸医院に往診の依頼があり、先代の会長はオートバイで診察に向かったと聞いています。その後、昭和五十六年、将来の高齢化社会に向けて八千代市で初めての「特別養護老人ホーム・グリーンヒル」が誕生し、今年で三十七年が経ちました。そして、平成十九年十月に誕生したグリーンヒル八千代台

翠声燿語

「グリーン・ヒルの歌」

作詞 栗山 芳麿
作曲 宗 鳳悦

1. 大気さわやか 緑もゆたか
ここに集いて 心はひとつ
福祉の社会築くため
今日も看護（みどり）を愛の手を
その名もやさし グリーン・ヒル
その名もやさし グリーン・ヒル

昭和61年3月25日

は、お陰様で今年、十周年を迎えることができました。十月一日午前中にはお祝いの式典、午後にはボランティアとしてお世話になった百名の方々をお迎えして、大変賑やかな感謝の交流会を行いました。

この十年間、市内八千代台地区において、微力ながらも地域の社会福祉に貢献できたとすれば、この八千代台地区で五十五年を歩ませて頂いたことへの感謝だと思っております。そして、これからの十年、二十年と「グリーンヒルの心」を念頭に置き、歩み続けていければと思っております。

今後共、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

三十二年前に作られていた「グリーン・ヒルの歌」の一節である。「看護」と記して（みどり）と読ませるあたりに時代を感じる。しかし、三節まである歌詞と、メロディー共に三十二年前に作られたとは思えない程、今の時代に添っており、覚え易い歌となっている。歌とは歌い継いでいかないと消えてしまうもの。これからこの歌を大切に歌い継ぎ、「グリーンヒルの心」同様に、グリーンヒルの柱としていきたい。

(恵)



特別養護老人ホーム グリーンヒル

1丁目



利用者
に合わ
せて外出
の企画を
実施して
います。



イチゴ狩り、アンデルセン公園、バラ園、花見、お買い物等々へ出掛け、ご利用者・職員が一緒になって楽しんでいきます。でも、皆様が均等に機会を得て外出するのも諸事情で難しいことです。



では、どうしているのかと言えば、日々のちょっとした楽しみになればとの思いで、毎日の小さな行事、レクリエーションを行っています。中でもやはりおいしい手作りおやつを召し上がって頂く企画が人気です。職員もおいしいネタ探しに四苦八苦していますので、ご利用者や皆様のお好きな食べ物の情報をお待ちしております。

【一丁目主任 新山 哲】

2丁目

毎年恒例！
皆さんまバー

ベキュー！食べ物
がおいしい季節
がやってまいり
ました。今年



も秋の味覚である『さんま』をご利用者の目の前で炭火焼にしました。皆様がさがです。

器用にそして、きれいに召し上がっていらっしやいました。あわせて、秋ナスや旬の柿も楽しんでいただきました。あいにくの天気が続いていますが、東の間の晴れを利用して、苑の中庭で開催をすることができ、秋の訪れを肌で感じることが出来たかと思えます。ロクに「立派なさんまだね。」「美味しいね。」と今年も大絶賛でした。

【二丁目リーダー 佐藤 優】



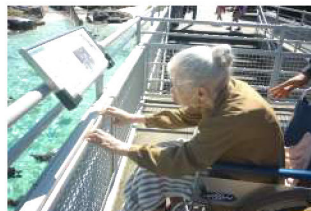
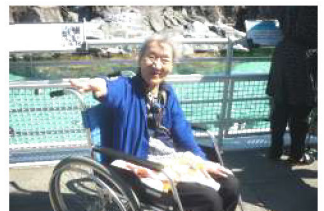
3丁目

九月二十一日に
葛西臨海水族

館へ外出しました。
この日は東京都の敬
老週間期間中で、六
十歳以上の方は入館
が無料でした。その為
か、他の高齢者の方
も沢山いらしてあり、
かなり賑やかなり賑や
かでした。到着し、レ
ストランで食事を済ませ、園内を巡りました。お腹がいっぱいになり、眠くなったNさんでしたが、気に入った水槽の前では拍手喝采でした。子供好きなTさんは、小さなお子さんが来ると嬉しそうに話しかけていました。Sさんは魚の動きに合わせてなの、踊るように手を「ラ」「ラ」させながらずっと笑って見えました。お天気も良く、帰りの車内からの景色も楽しめ、絶好のお出掛けになりました。



【三丁目副主任 一戸 則夫】





秋の外出 千葉中央博物館

「きのこワンダーランド」が開催中の千葉県中央博物館に行ってきました。きのこの不思議について、ただ美味しいだけではなく、自



然界でどのような役目を果たすのか、その偉大さに興味が湧いてきました。沢山のきのこを觀賞しながら、それぞれ皆様が感じた事や思い出話で会話を楽しみながらまわりました。



この中央博物館では、千葉県の地形や歴史、動植物の生態など沢山の種類の展示をみる事ができ、皆様それぞれのご興味に合わせて、ゆっくり觀賞する事が



「きのこワンダーランド」が開催中の千葉県中央博物館に行ってきました。きのこの不思議について、ただ美味しいだけではなく、自

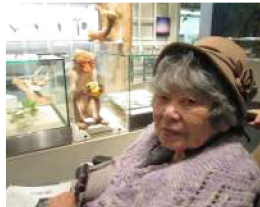


できる機会としてもご利用いただければと考えています。長い時間のバス移動や、広い館内の歩行機会、外出を通じての疲労感など、お一人お一人に合わせたご支援で無理をなさらぬよう注意して、一緒に有意義な時間を共有できればと思います。次回もお楽しみに。



参加をお待ちしています。

【相談員 南 祐介】
【煌りサブリーダー 福元 香織】



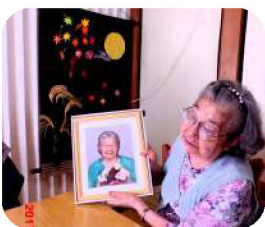
多くの皆様のご



今年も、敬老のお祝いをさせていただきます。九月十八日の敬老の日には、敬老の祝い膳を召し上がっていただきました。皆さん会話も弾み、楽しい時間を過ごしていただき、またお祝いの品もお贈りし喜んでいただきました。今年も米寿の方が二名で、記念写真を



をお渡ししています。これからも元気にご利用いただければと思います。



【課長 恩房 憲克】



今年も九月十七日、十八日の二日間、敬老会が行われました。



今年は「楽」をテーマ



に掲げ、敬老会の準備に取り組んできました。年間を通して、ご利用者の皆様に楽しんで頂けるような企画を立てています。敬老会はその中でも一大イベントとなっています。参加された皆様がテーマ通り楽しんでいただけたら幸いです。

十七日のみどり会場アトラクションは、風梨音（ふうりん）の会による木管五重奏。生演奏を聴



きながら食事会スタート。馴染みのある心地よい音楽を聴きながらの食事はとても優雅で、贅沢なひと時となりました。また、最後にはみんなで「ふるさと」を大合唱し、思い出に残る敬老会となりました。

なのはな会場のアトラクションは大平神州・神雍様による詩吟です。敬老会前から何度も足を運びいただき、準備下さった大掛かりな仕掛けに会場は大変盛り上がり、ご利用者・ご家族共に堪能された様子でした。

十八日は式典から始まり、今年には喜寿一名、米寿五名、白寿二名の方々に津川施設長より賞状と記念品が贈られました。服部八千代市長他、たくさんの方々の来賓の方々から温かいご祝辞をいただき、皆様大変喜ばれていました。



式典後のアトラクションは八千代絆クラブ様による舞踊です。色鮮やかなお着物と華麗な舞は大変素晴らしく、皆様目を奪われ、見入っておられました。午後のお茶会では大日本茶道学会の学生さんによるお点前でもてなしをうけました。遠方よりお越しいただきありがとうございました。ごさいました。

毎年、たくさんのご家族にご参加いただき感謝しております。また、ご協力いただきまして、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

【敬老会実行委員 二橋 恵美】

野高上

今回は「敬老会」の様子をご紹介します。

今年の標語は「心」です。「感謝をこめて」という意味も込め、その言葉にふさわしい会となるよう九月十七日・十八日と二日間にわたり催させていただきました。服部八千代市長をはじめ、多くの「来賓の方々のご祝辞を賜り、ご家族・



りわけ、敬老会に花と雅を添えて頂きましたボランティアの皆様、記念写真でご協力を賜りました和田写真館様、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

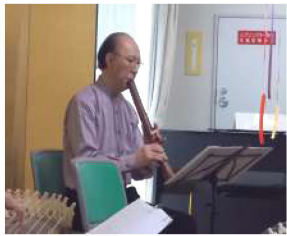
会は賀寿表彰から始まります。今年度の対象者は三十八名。最高齢は九十八歳、九十歳を迎



えられた卒寿の方は四名、米寿喜寿白寿の方々は十六名と人生のお歴々が名を揃えます。記念写真やお祝い品、表彰状でおめでたい日の記念とさせていただきます。



表彰に続き「敬老くす玉割り」、その後アトラクションを行いました。十八日には、吉村流昂寿朗会様による舞。大人・子供舞手の披露に傾きながらご覧になる様子が目に映りました。十九日には、いとだけの会様による

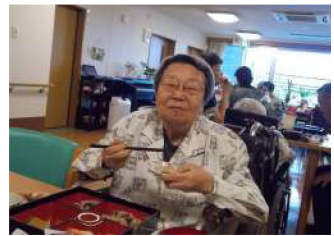


箏・尺八演奏。古典芸能の上質な時間、会場は雅な秀囲気になりました。特養職員による一芸は、昨年に続き「二人羽織」。演者も必死・見る側の皆様も必死という中で拍手と笑いに包まれました。昼食を挟み、午後からはお茶会（盆点



前・藤の会様)の開催です。お盆の中に彩られた世界(お抹茶・お菓子・お花)を五感で堪能し、至福のひと時を過ごしました。敬老会も終了し、季節も冬へ向かいます。皆様が健やかに年越しを迎えられるよう、日々のケアに努めて参りたいと思います。

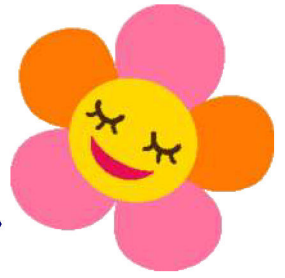
【生活相談員 角掛 竜】



八千代台

八千代台開設10周年記念

テーマ ～皆様のご支援感謝を胸に～



2部感謝の集いは13:30～15:30、グリーンヒル八千代台にて開催いたしました。ご来賓の衆議院議員：小林鷹之様にスピーチを頂き、大きな拍手が沸き起こりました。



その後、日頃お世話になっているボランティアの皆様への感謝状を小澤施設長より各ボランティア様へ贈呈させて頂きました。



アトラクショでは午前引き続き「落語家 柳亭 金車 師匠】にご出演頂き、落語を披露頂きました。ご来苑いただいた皆様方の顔も笑顔で和らいでおられました。また、日頃の活動をPVにさせて頂き、感謝を込めて上映させていただきました。



今回の10周年においては、開設時より支えて下さったパートナー（地域住民・ボランティア・各関係機関等）の皆様



に「感謝」の気持ちを伝え、「今後もこの施設とお付き合いしたい」と感じてもらうことを目的に実施致しました。各職員が改



めて自施設の提供している事業や、その価値を理解し「この法人で働いて良かった」と思える機会となり、「自分たちはやりがいのある大切な仕事をしている」と自負と誇りを持ち、今後も仕事をしていきたいと思ひます。

グリーンヒル八千代台は20年、30年と重ね、さらなる発展をし、地域の皆様と共に歩んでゆけるよう努めて参る所存です。

今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

開設10周年記念プロジェクトリーダー 日高 和枝

【プロジェクトスタッフ】田中 美代 主任・大藪 淳子 主任・石橋 愛美 主任・大森 裕美 主任
吉村 宣博 主任・角掛 竜 副主任・山野 浩子 提供責任者



高齢者複合ケア施設 グリーンヒル

【記念式典・ボランティア感謝の集い】



開設10周年式典およびボランティア感謝の集いを開催しました。記念式典には約60名、ボランティア感謝の集いには約100名の方々に出席頂きました。

10周年式典 10:00~12:00 ChopinSalon (ショパンサロン) にて開催し、オープニングは、【音楽工房 「妙」 井上よしこ様】によるピアノ演奏『グリーン・ヒルの歌』からスタート。



記念品贈呈ではグリーンヒル家族会からテレビ・CD、カセットデッキを頂きました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。ご来賓を代表し、参議院議員：豊田俊郎様にご丁寧なご祝辞を頂きました。またお忙しい中、多くのご来賓の方々にご臨席を賜りまして、誠にありがとうございました。



記念講演は、医療法人社団 恵仁会 理事長 セントマーガレット病院院長 朝戸健夫先生より「今後の医療と福祉について」をテーマに講演して頂きました。八千代台の過去と今日を何うことができ、また、懐かしさを交えながら講演頂きました。

【10年の足跡】として、開設10周年を機に、改めてグリーンヒル八千代台の原点と果たしてきた役割を振り返り、時代の変化の中で新しいグリーンヒル八千代台のあるべき姿を職員自ら考え、自分の言葉で発表させていただきました。

- ①『～ご利用者とのあゆみ～』 生活相談員 角掛 竜
- ②『長く続けられた理由・・・』 (特養)主任 田中美代 (居宅)介護支援専門員 山田智美 (小規模多機能)主任 吉村宣博 (訪問介護)ヘルパー 大森暁子 (小規模多機能サテライト)介護職員 辻内香里



職員みんなのそれぞれの思いや10年の足跡を、会場の皆様にはしっかりとお伝えできたのではないかと思います。アトラクションでは【落語家 柳亭 金車 師匠】にご出演頂き、会場は手拍子と笑いに包まれ、楽しむことが出来ました。

『グリーンヒルキッズ』の子どもたちが日々の生活のなかで楽しんで取り組んでいる創作活動をご紹介します。

ハローウィンは、みんなが楽しみにしている行事の一つです。『子ども画伯たち』がクレヨンやマーカーを手に、一人ひとりが自由に描きます。子どもたちの勢いのあるクレヨンの線が加わると、生き生きとした壁画の完成です。お習字は一年生にとって初めての体験でしたが、筆あそびをしながら力強く書き上げました。

二学期は学校行事も多くあり、キッズに来てその時の様子を楽しそうにお話してくれる場面も見られるようになりました。『学校やキッズで頑張っていることや困ったこと・うれしかったことなどを、お友だちや先生に自分の言葉で伝えることができる』を目標にSSTにも取り組んでいます。

これからも、子どもたちの持つ力を十分に活かし、伸ばしていけるよう支援をしてまいります。子どもたちの日々の成長を、一緒に見守り支援していただけるよう、お願いいたします。

【管理者 穴倉 富子】



グリーンヒルキッズギャラリー



ハローウィンの壁画完成！



元気なお習字が書けたよ！



公園あそびはたのしいね！

千葉市科学館でプラネタリウムを見たり、ふしぎ発見したよ！



数のふしぎ・形のふしぎに挑戦！

